



「報刻の大太鼓」を打ち鳴らす参加者
＝掛川市の掛川城御殿

掛川城御殿で「報刻の大太鼓」

時の記念日（6月10日）に合わせて、掛川市観光協会掛川支部は10日、同市掛川の掛川城御殿で「報刻の大太鼓」の打ち鳴らし式を行った。1957年から続く恒例行事。約60人が参加し、正午に合わせて大きな音を響かせた。

観光関係者や地元園児らがばちを手に、力いっぱい太鼓を打った。忍者や武将に扮（ふん）した観光ボランティア

時の大切さ思い 打ち鳴らす

「掛川城戦国おもてなし隊」がサポートした。打ち鳴らしに先立ち、同支部の平野正俊会長が「時の大切さを再認識して、過去と今、未来を考える日にしたい」とあいさつした。

報刻の大太鼓は直径90㍍、長さ100㍍、胴回り333㍍。江戸時代後期の1855（安政2）年に掛川藩主の太田資功が城下町に時刻を告げる目的で製作したと伝わっている。明治中期まで定時に打ち鳴らされていた。

①「時の記念日」は何月何日ですか。（ 月 日 ）

②記事の「報刻の大太鼓」を打ち鳴らす行事はいつから続いていますか。（ ）年

③この大太鼓にはどんな歴史が伝わっていますか。

④「時の記念日」に、あなたがこの大太鼓を打ち鳴らすとしたら、どんな思いを込めたいですか。30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えましょう。



「報刻の大太鼓」を打ち鳴らす参加者
＝掛川市の掛川城御殿

掛川城御殿で「報刻の大太鼓」

時の記念日（6月10日）に合わせて、掛川市観光協会掛川支部は10日、同市掛川の掛川城御殿で「報刻の大太鼓」の打ち鳴らし式を行った。1957年から続く恒例行事。約60人が参加し、正午に合わせて大きな音を響かせた。

観光関係者や地元園児らがばちを手に、力いっぱい太鼓を打った。忍者や武将に扮（ふん）した観光ボランティア

時の大切さ思い 打ち鳴らす

「掛川城戦国おもてなし隊」がサポートした。打ち鳴らしに先立ち、同支部の平野正俊会長が「時の大切さを再認識して、過去と今、未来を考える日にしたい」とあいさつした。

報刻の大太鼓は直径90㍍、長さ100㍍、胴回り333㍍。江戸時代後期の1855（安政2）年に掛川藩主の太田資功が城下町に時刻を告げる目的で製作したと伝わっている。明治中期まで定時に打ち鳴らされていた。

①「時の記念日」は何月何日ですか。（ 6 月 10 日 ）

②記事の「報刻の大太鼓」を打ち鳴らす行事はいつから続いていますか。（ 1957 ）年

③この大太鼓にはどんな歴史が伝わっていますか。

例 江戸時代後期に掛川藩主の太田資功が城下町に時刻を告げる目的で製作したと伝わっており、明治中期まで定時に打ち鳴らされていた。

④「時の記念日」に、あなたがこの大太鼓を打ち鳴らすとしたら、どんな思いを込めたいですか。30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

例 ・時間は大切なものであることを多くの人に知らせるぞ。（25字）
・過去を振り返りながら、今という時を全力で生きていきたい。（28字）
・時は限りあるものであることを自覚するよい機会にしよう。（27字） など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏（小学校高学年～中学校／社会、特別活動、総合）